

平成30年度 第1回正副管理者会議議事要旨

【1】開会

【2】管理者あいさつ

＜管理者＞平成30年5月21日に招集予定の議会臨時会に上程を予定している議案についてご審議をいただきたい。また、可燃物処理施設整備事業については、5月2日に鳥取県東部広域行政管理組合可燃物処理施設整備・運営事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）から総合評価一般競争入札に係る最優秀提案者についてご報告を頂いたところである。このことについてご審議をいただきたい。

【3】議事

[1] 議会臨時会（平成30年5月21日招集予定）提出議案 財産の取得について〈議案第11号〉（案）

＜事務局＞鳥取消防署東町出張所の消防ポンプ自動車の更新に伴い車両を取得するものである。指名競争入札により37,897,200円で株式会社吉谷機械製作所が落札した。

＜管理者＞この件について、事務局提案のとおり議会に上程することとしてよいか。[了承]

[2] 可燃物処理施設整備・運営事業の落札者について

＜事務局＞選定委員会からJFEエンジニアリング株式会社大阪支店を最優秀提案者とする報告を受けている。選定委員会からは、入札参加者は1者であったが、技術評価点は配点60点に対し51.95点と高成績であり、入札価格についても31,200,000千円で、予定価格32,554,000千円に対し95.8%、1,354,000千円下回る額で、価格評価点は配点40点に対し40点の満点、総合評価は技術評価点と価格評価点の合計91.95点であり第1位となった。このような結果からJFEエンジニアリング株式会社大阪支店を最優秀提案者に提案するに至ったと審査講評を頂いている。この最優秀提案者を落札者として決定してよろしいかご審議いただきたい。

＜副管理者＞他にこのような入札に参加できる者はどの程度あるのか。

＜事務局＞現在計画している規模（240t/日、発電施設併設）のストーカ炉を建設できる事業者は6～7者程度あると見込んでいた。

＜副管理者＞地元、議会への説明はどのように行っていくのか。

＜事務局＞5月2日、選定委員会からの最優秀提案者の報告を受け、その事業概要について地元の対策協議会に説明させていただいた。議会には、同日に福祉環境委員会を開催していただき、同様の内容でご説明したところである。また、5月21日予定の議会臨時会の全員協議会において、この件について改めて説明させていただきたいと思っている。なお、契約関係については、7月の議会臨時会への上程を予定しているところである。

＜副管理者＞地元への説明について感触はどうであったか。また、契約が7月ということであ

るが、落札者が決定してから期間が空くのはなぜか。

< 事務局 > 地元からは説明に対して特に意見はなかったが、事業者が正式に決まった段階で改めて事業者を交え詳しく事業内容について説明することとなった。契約については、これから落札者と詳細について協議を行う必要があり、ある程度の期間が必要となる。

< 管理者 > 選定委員会から報告いただいた最優秀提案者を落札者として決定してよろしいか。
[了承]

[3] その他

可燃物処理施設整備事業に伴う敷地造成工事について

< 事務局 > 可燃物処理施設整備事業に伴う敷地造成工事については、現在鋭意取り組んでいるところであるが、調整池堰堤部で地盤強化対策を講ずる必要があり増工をしなければならぬ状況となっている。これは、土質調査のためボーリング調査を行った上で、切土発生土にセメントを混ぜ、盛土の一部とする設計としていたが、実際の発生土でセメント配合試験を実施したところ、セメント配合量・種類を変更し盛土を行う必要が生じたものである。なお、調整池は、集中豪雨時などに場内に降った雨水が一時に下流域に出水することを留める機能を持つもので、その堰堤は一定の強度と湛水能力が必要である。増工は、直接工事費で約 90,000 千円、請差を含めた契約額で約 110,000 千円の増額を見込んでおり、7月予定の議会臨時会に変更契約を上程させていただきたいと考えている。

< 副管理者 > ボーリング調査の結果も含め、セメント配合変更の必要性をはっきりさせること。

【4】その他

[1] 今後の行事予定について

[2] その他

【5】閉 会